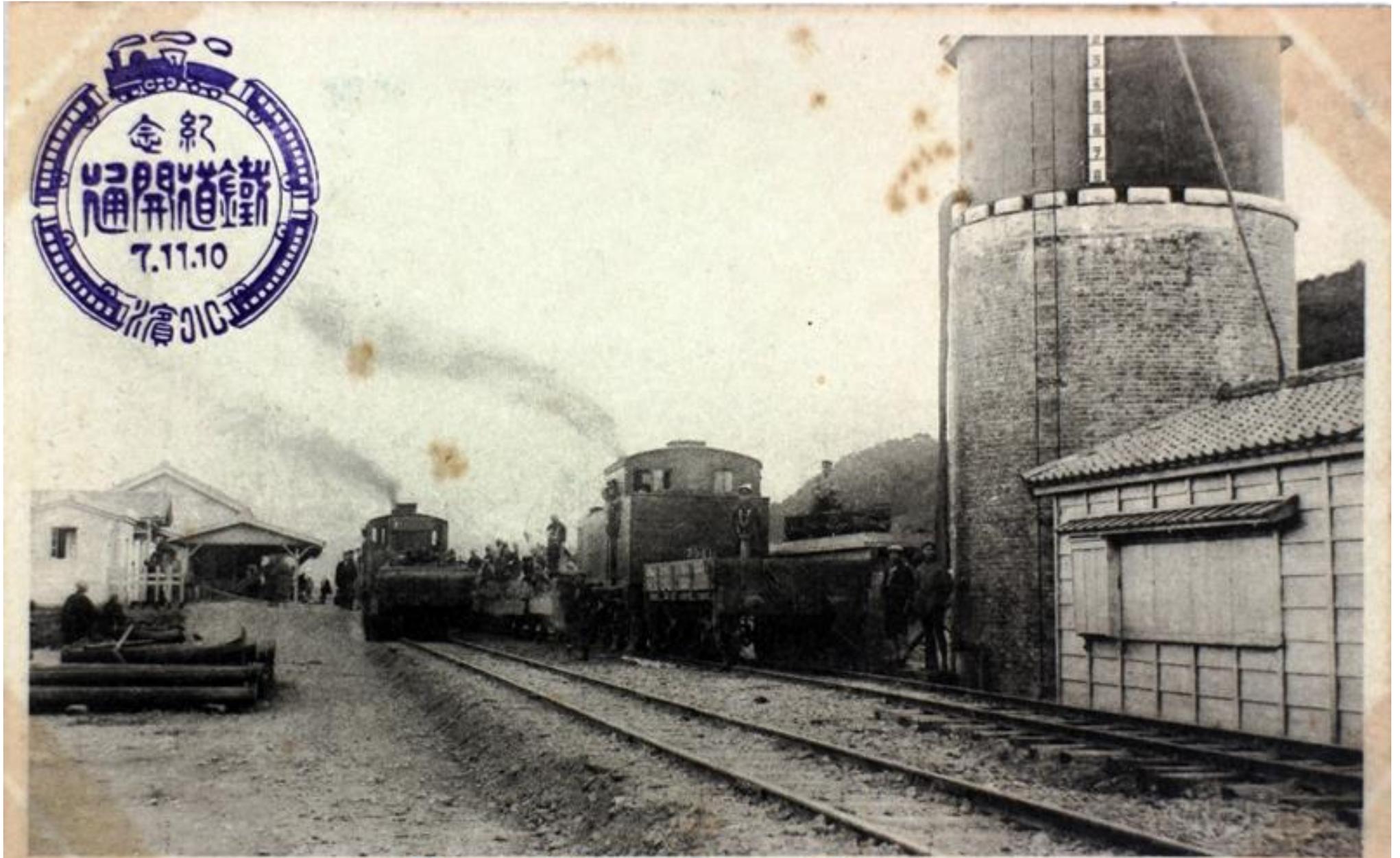


①小浜線小浜停車場



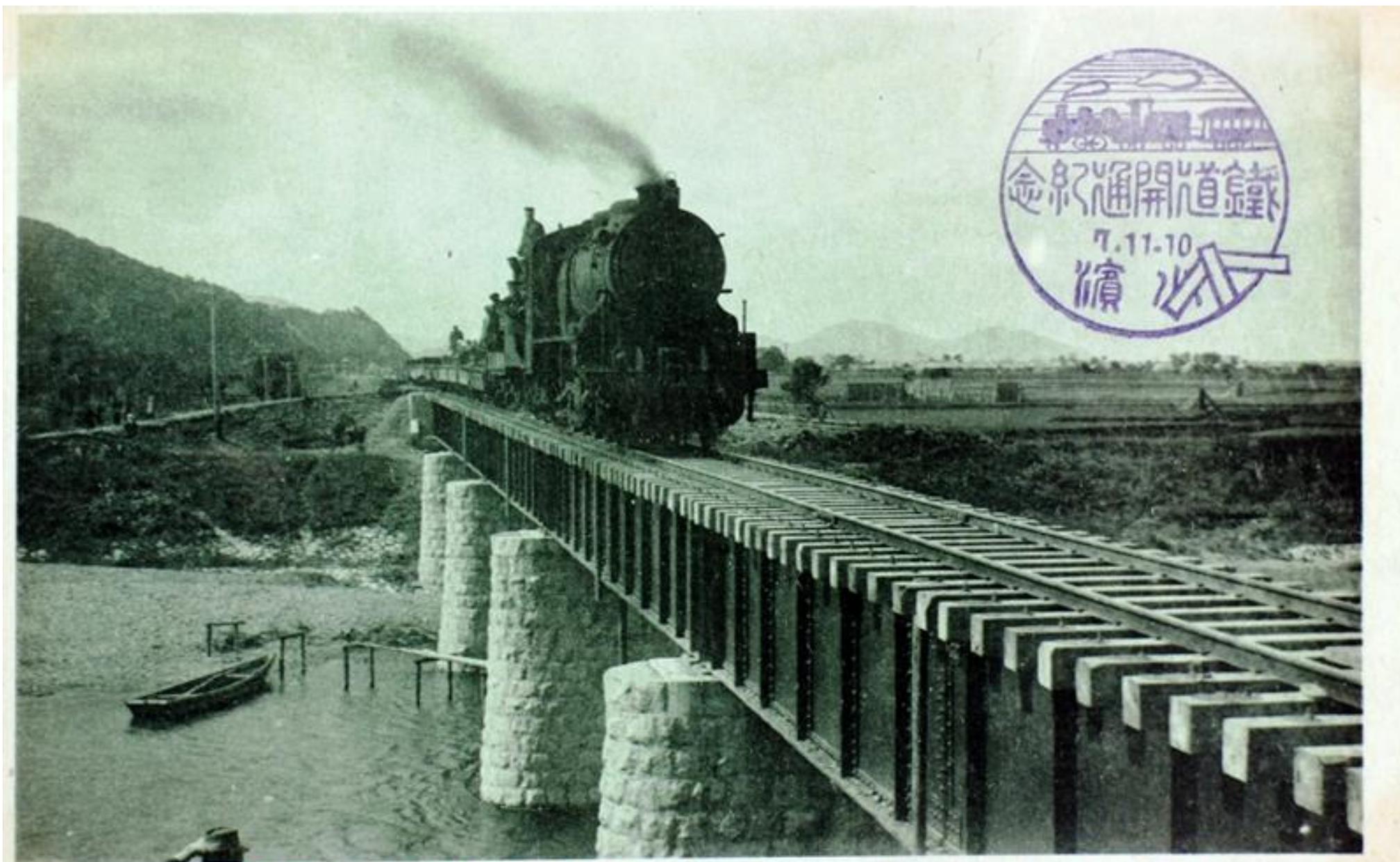
「小浜線小浜停車場」：明治4年、京都府は敦賀・小浜への鉄道を計画。若狭では小浜・熊川・今津・大津間、舞鶴・小浜・敦賀間の2路線の鉄道計画が起こる。28年10月に小浜鉄道株式会社（小浜・今津間）、11月に若狭鉄道株式会社（熊川・敦賀間）が出願、12月に合併して小浜鉄道株式会社に（33年に挫折）。45年3月の「鉄道敷設法」改正で、敦賀・新舞鶴間に官設鉄道の敷設を決定。大正4年5月26日に小浜線着工、7年11月10日に敦賀・小浜線が開通。

②小浜線小浜停車場



小 浜 停 車 場

③小浜線湯ノ岡鉄橋

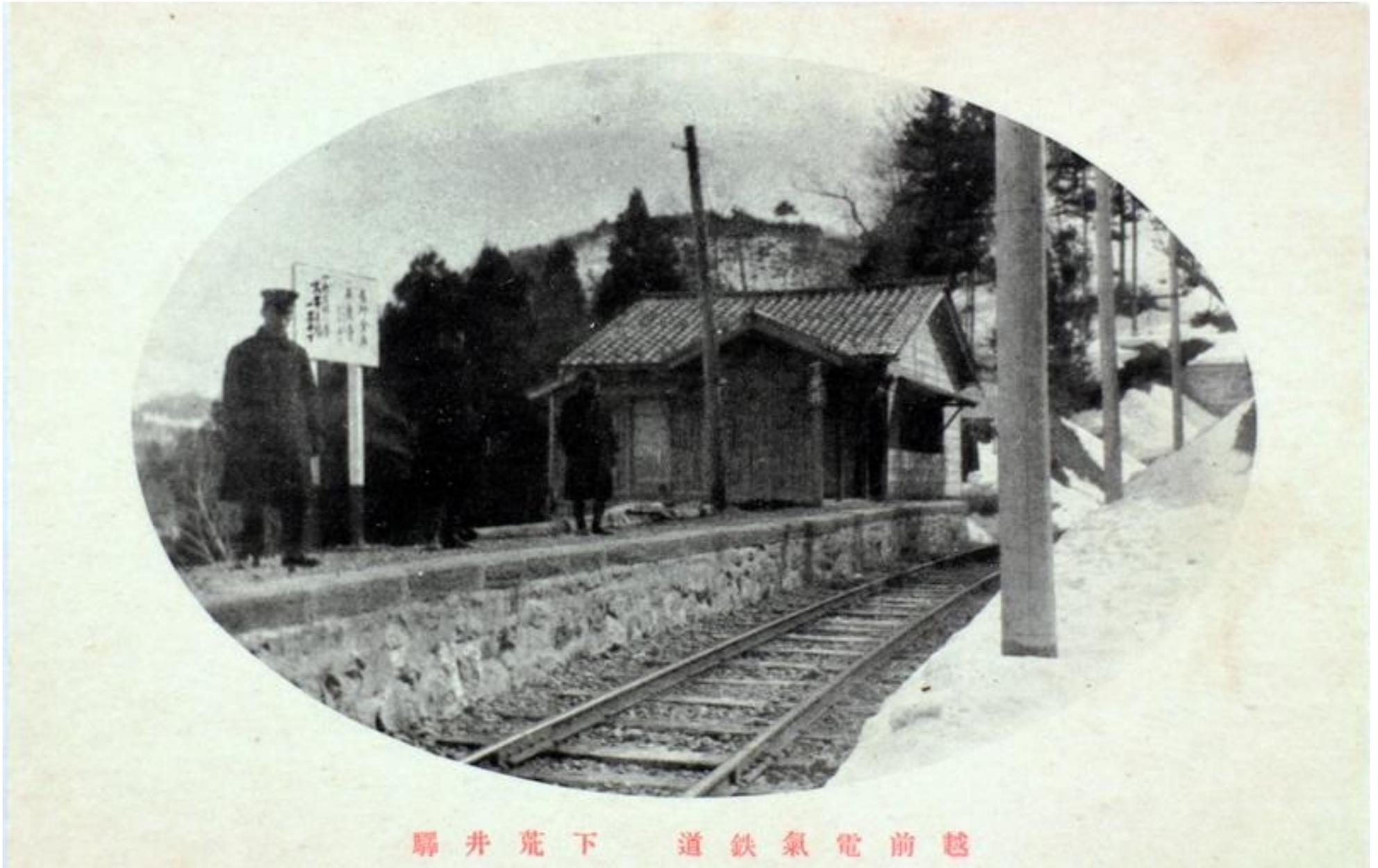


Yunooka anironbridge, obama railway.

(景の橋鐵岡ノ湯道鐵濱小)

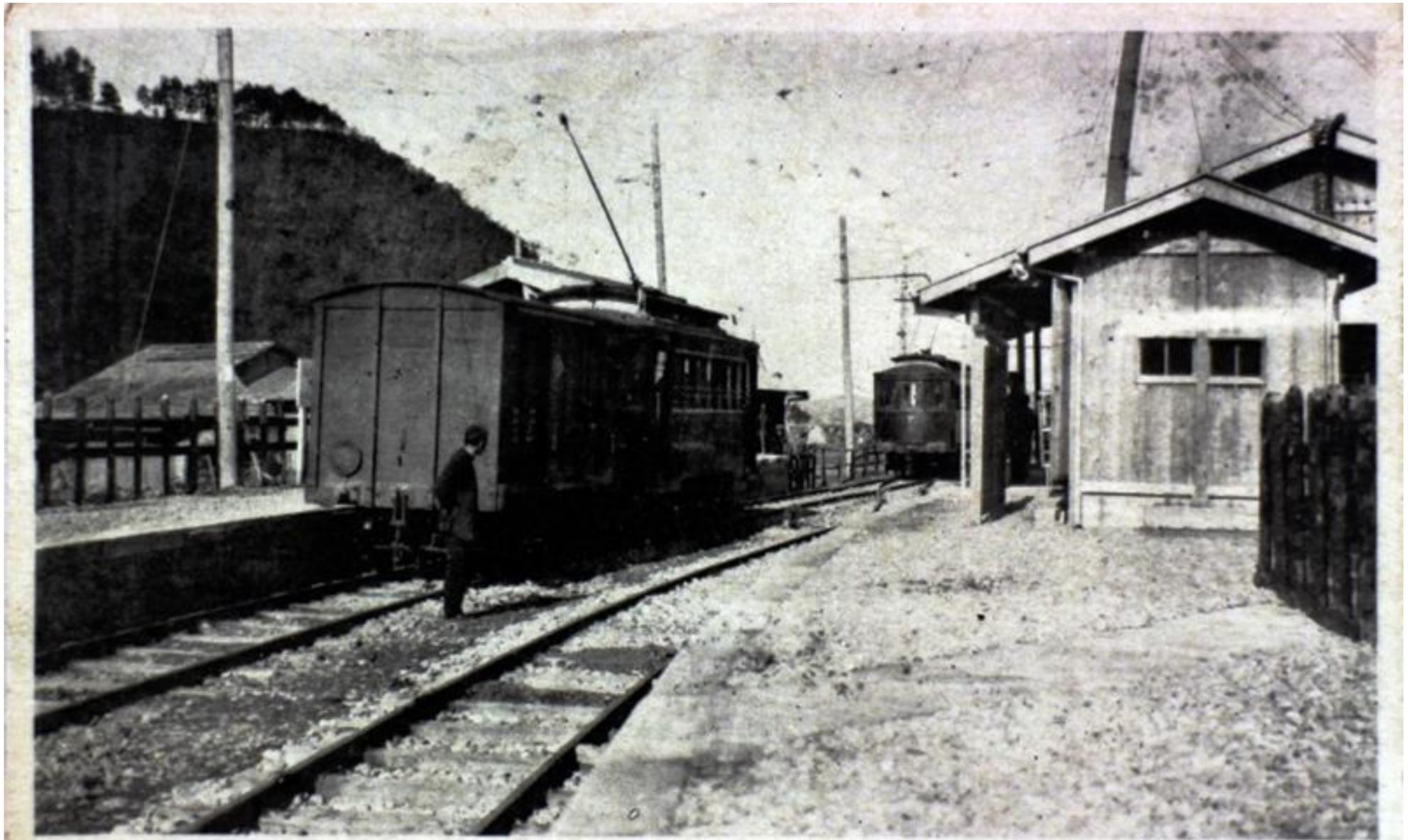
「小浜線湯ノ岡鉄橋」 : 遠敷郡今富村湯岡の南川に架橋。

④越前電気鉄道下荒井駅



「越前電気鉄道下荒井駅」：越前電気鉄道は京都電灯株式会社が経営する北陸最初の電気鉄道。大正3年2月11日に新福井・市荒川間が開通。3月11日に勝山まで開通、4月10日には大野口までが開通。

⑤越前電気鉄道永平寺停車場



Yeihiei Station, Echizen.

越前永平寺電車停車場

「越前電気鉄道永平寺停車場」：越前電気鉄道が永平寺門前から丸岡町を經由して北陸線金津駅に電気鉄道の敷設を計画。大正14年9月16日に永平寺口・永平寺門前間が開通、越前電鉄永平寺駅（昭和3年、永平寺口に変更）で越前電鉄に接続。昭和4年12月10日に北陸線金津駅に接続。

⑥鯖浦電気鉄道神明駅



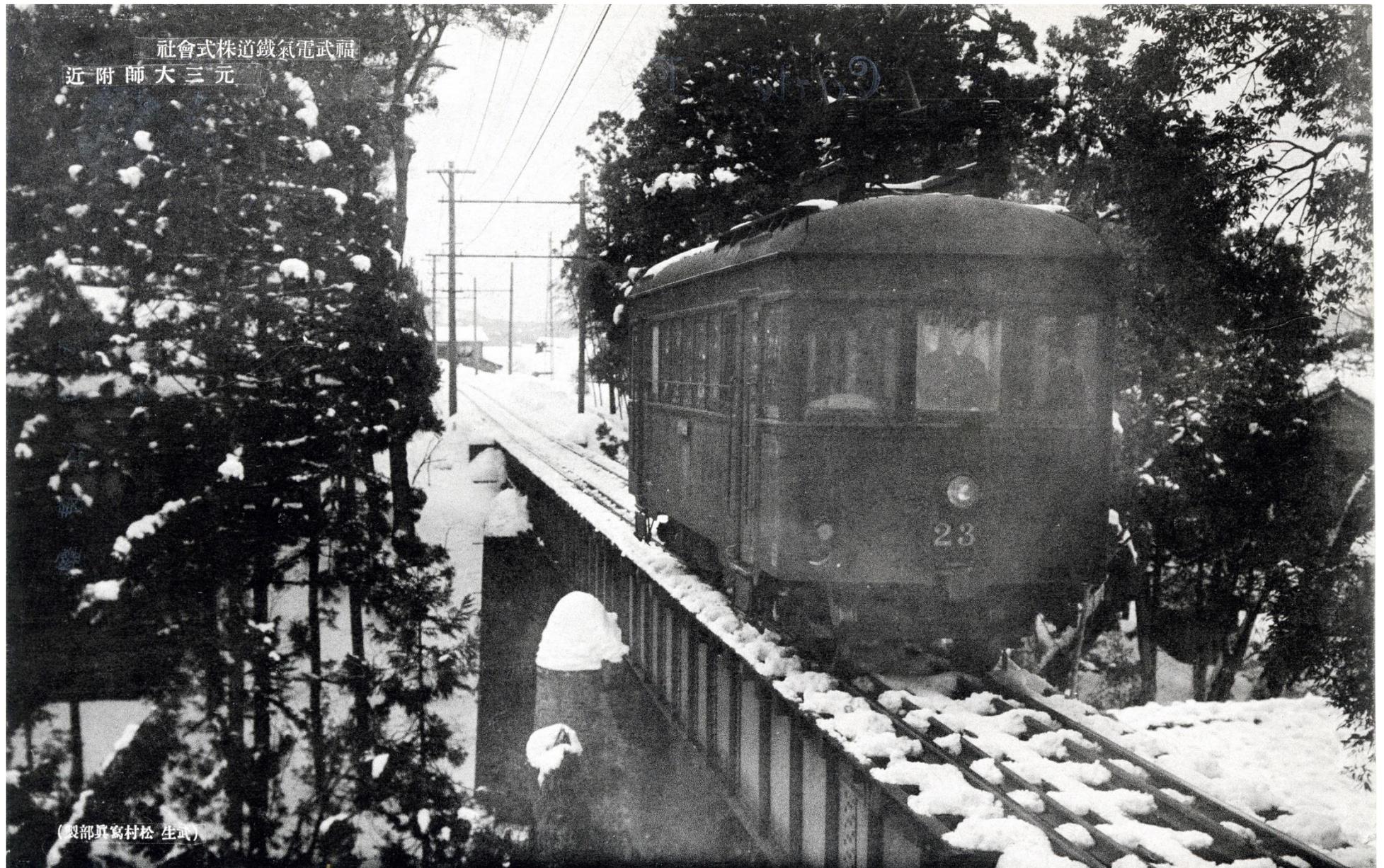
「鯖浦電気鉄道神明駅」：鯖浦電気鉄道株式会社が鯖江町・丹生郡四箇浦村間に電気鉄道の敷設を計画。大正15年10月1日に東鯖江・宮崎村佐々生間が開通、神明駅で福武電気鉄道と交差。昭和3年11月8日に織田まで開通。以西は、バスでの連絡。

⑦福武電気鉄道兵営駅



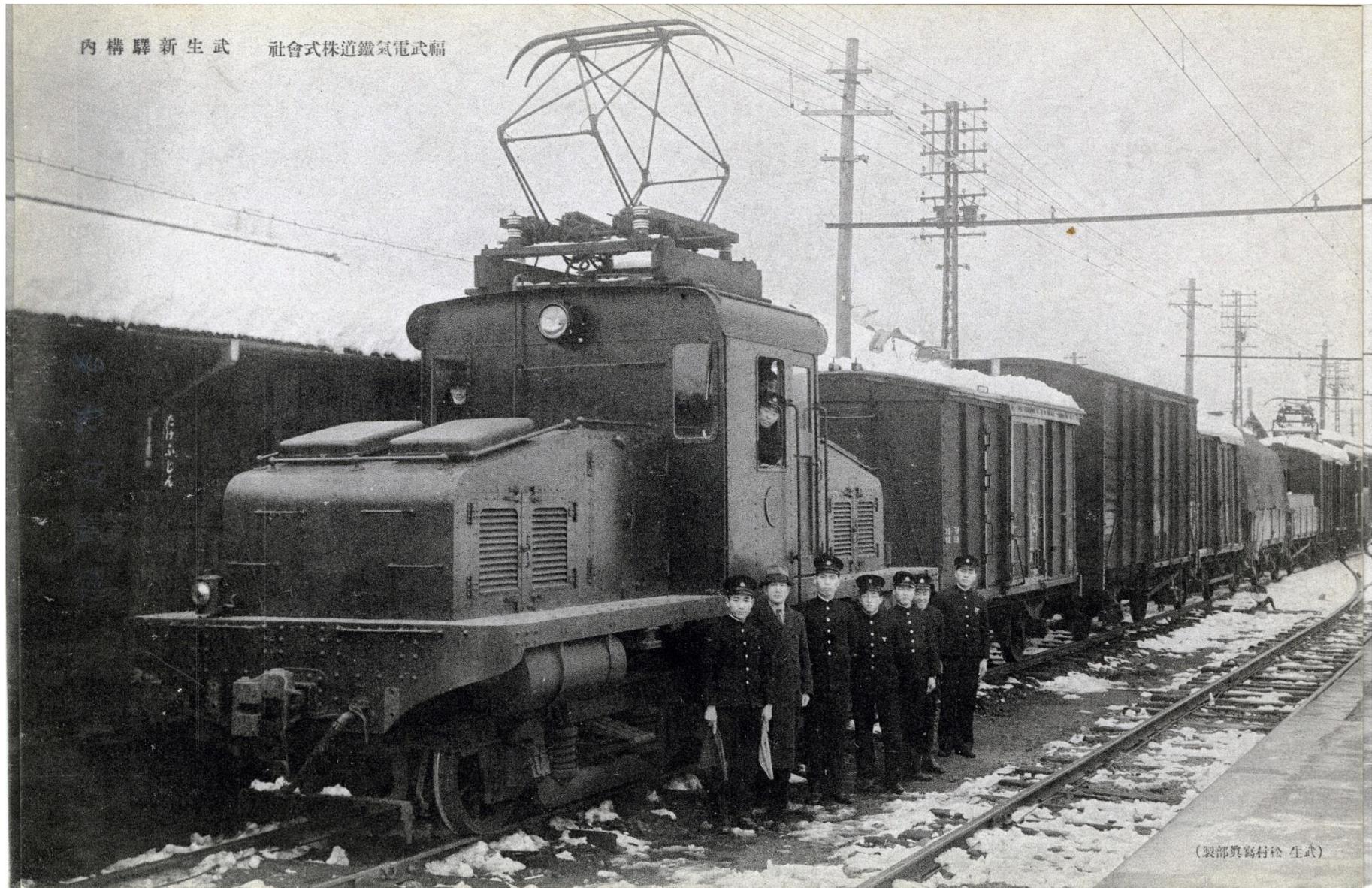
「福武電気鉄道兵営駅」：福武電気鉄道株式会社が武生町から鯖江町、歩兵第三十六連隊を經由し、福井市に電気鉄道の敷設を計画。大正13年2月23日に武生新・兵営間が開通。14年7月26日に福井新駅（赤十字前駅）まで、昭和8年10月15日に福井駅前まで開通。

⑧福武電気鉄道兵営駅長泉寺陸橋



「福武電気鉄道兵営駅長泉寺陸橋」：武生新・兵営間は大正11年5月に着工、13年2月23日に開通。当初は、武生新・西武生・家久・西鯖江・下鯖江・兵営の各駅を設置。

⑨福武電気鉄道武生新駅構内の電車



「福武電気鉄道武生新駅構内の電車」：武生新と福井市を結ぶ私設鉄道計画は、歩兵第三十六連隊との連絡を理由に明治末年より起こるが、北陸線との平行線となるため不認可。大正後期に、連隊への交通強化都市間連絡の必要が加わり認可。福武電鉄の電力は武周電力株式会社より、鯖浦電鉄の電力は越前電気鉄道より受電。

⑩福武電気鉄道福井県庁前停留所



「福武電気鉄道福井県庁前停留所」：福井駅前への乗り入れは、幸橋架橋（昭和5年）と国道12号線の拡張により実現。福武電鉄は16年7月に南越鉄道を合併、20年8月に鯖浦電鉄と合併し福井鉄道株式会社に改称。田原町駅への延長は25年11月。

⑪福武電気鉄道兵営駅構内



「福武電気鉄道兵営駅構内」：兵営駅は現在の神明駅。歩兵第三十六連隊は明治30年8月に愛知県守山より移営。⑩とあわせ歩兵第三十六連隊の兵士の利用状況を示す。

⑫芦原停車場



「芦原停車場」：北陸線三国支線（金津・三国間）の敷設が実現したのは明治44年12月15日。三国への鉄道敷設計画は、14年の東北鉄道会社（新潟・四日市間）が最初。芦原温泉の開湯は明治16年。芦原停車場と三国停車場の形がほとんど同形。

⑫-2 芦原駅



⑬三国停車場



「三国停車場」：北陸線の原計画は、福井から森田に出て九頭竜川沿いに三国港（当時は坂井港）を経て大聖寺に至る計画。官設となり森田から金津に直線北行。三国町は何度も迂回線・支線の建設を要望。三国駅の位置は、氷川神社付近と久昌寺付近の2案。

⑭北陸線福井停車場



「北陸線福井停車場」：客待ちの人力車、荷車の姿が見える。福井市への鉄道開通は明治29年7月15日。当時、北陸線は敦賀・富山間、敦賀以遠は東海道線。

⑮北陸線福井停車場（遠景）



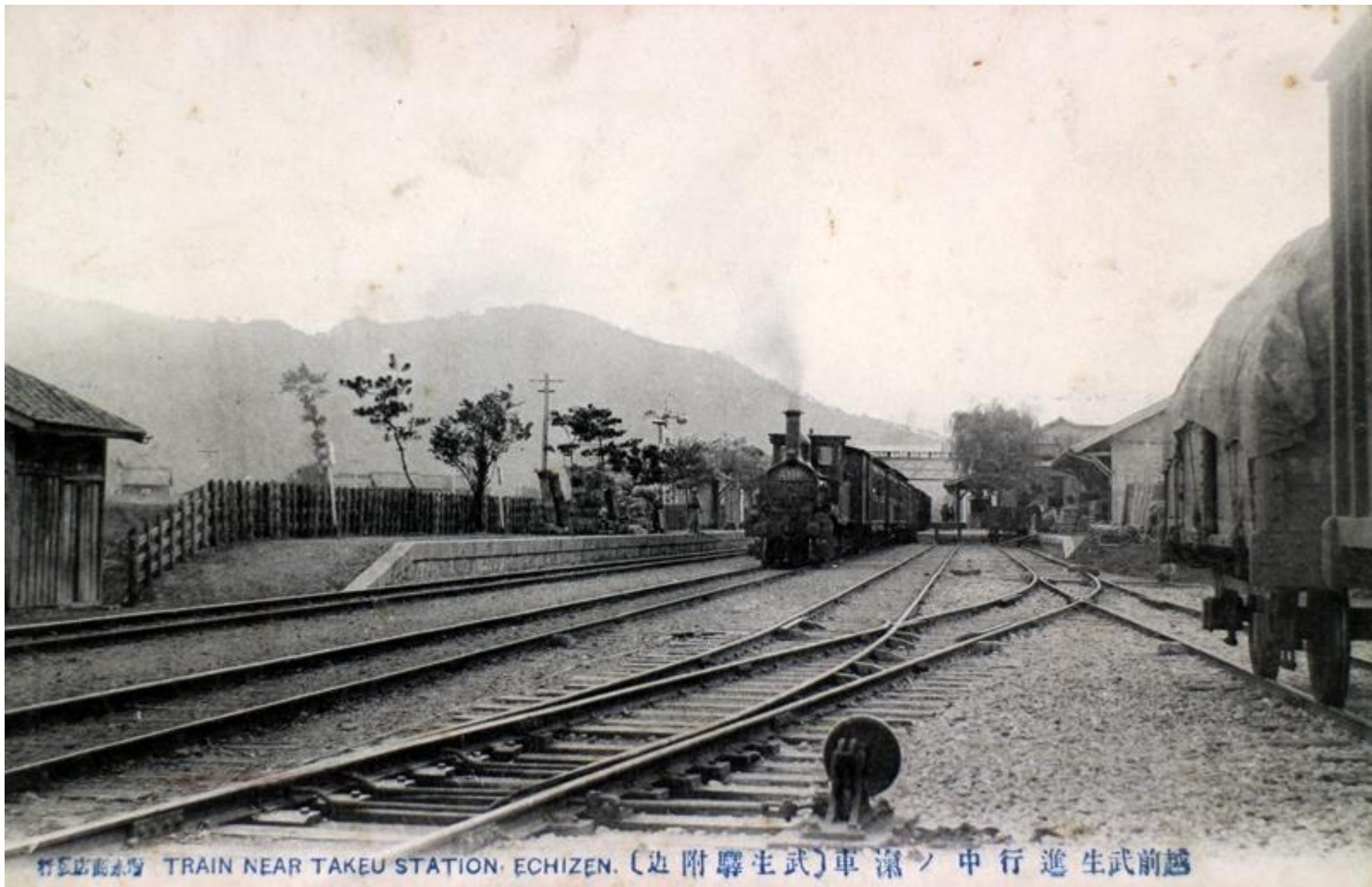
「北陸線福井停車場（遠景）」：人力車が姿を消し？「円タク」と「バス」が姿を見せる（大正15年11月、幸橋南詰で県内初のタクシー事業が開業）。左右の商店街の看板、駅右手には“羽二重餅”“キリンビール”、左手には宿屋・飯屋。

⑩敦賀停車場



「敦賀停車場」：敦賀への鉄道敷設は、明治2年11月に決定。13年4月、敦賀と長浜の双方から着工、15年3月10日に金ヶ崎・柳ヶ瀬隧道西口間と長浜・柳ヶ瀬間の運転を開始。17年3月に柳ヶ瀬隧道が完成し、4月16日に金ヶ崎・長浜間が全通。42年6月1日、敦賀駅を気比神社南より現在地に移転、43年に2代目駅舎が完成。

⑰北陸線武生駅



「北陸線武生駅」：遠方は日野山の裾か。武生駅内は四車線（複々線）。下り列車が通過する風景であるが停車しない模様。右手には貨物列車の引き込み線。遠方に上下線の連絡通路である陸橋。

⑱鯖江駅付近、明治三七・八年戦役陸軍凱旋観兵式記念



「鯖江駅付近、明治三七・八年戦役陸軍凱旋観兵式記念」 : 明治37・38年戦役は日露戦争。この写真は戦地に向けて出発する際のものと思われる。